

旧岡山県農学校 現高松農業高校地域向け情報誌

**備中高松城下町かわら版**

http://www.takano.okayama-c.ed.jp/

第 83 号  
平成 24 年 5 月 19 日

発行元  
岡山県立  
高松農業高等学校

tel  
086-287-3711

fax  
086-287-3713

**朝礼台**

國本の學  
校長 石田 正人

本校の校長室の壁に「國本の學」という額がかかっている。これは、本校の創立二十周年（大正八年、一九一九年）を記念して犬養毅に依頼し書かれたものである。今月十五日、その犬養毅（号・木堂、一八五五―一九三二）八十回目の命日に東京・南青山の青山霊園で追悼墓参会があったと新聞に報じられていた。（五月十六日付け、山陽新聞）。没後八十年の歳月を経てなおその偉業が語られるその人は、大正九年には、帝国議会に普通選挙実施の要求を提出している。当時の内閣総理大臣は原敬である。また、原内閣高等教育拡張政策に基づき大学令が施行され、慶応義塾大学、早稲田大学など名門大学が法的に旧制大学として認可された年だ。一方、その当時の本校は「岡山県立農学校」という名称であったが、大正九年四月には「岡山県農学校」、翌大正十年には「岡山県高松農学校」と改称されている。大正十一年四月には、本校内に岡山県実業補習学校教員養成所が設置された。これは、後の岡山青年師範学校、さらには岡山師範学校と一緒に岡山山大学教育学部の母体となったものである。この頃の高松は犬養毅の目にはどのように映っていたのだろうか。本校二十歳のお祝いに揮毫（きこう）してくれたその書には農という字こそ見当たらないが、「農は国の本なり」という言葉と同義だと思ふ。犬養毅も高松も勢いがあつたに違いない。犬養毅はその十二年後、一九三二年七十六歳で第二十九代内閣総理大臣となる。

**" I Have A Dream. "**

～ インターンシップに挑戦しています！～

食品科学科 3 年生が、課題研究の活動の一環で、土曜日や長期休業中を利用した、食品会社へのインターンシップに挑戦しています。

岡山市北区河原の「福谷チーズ工房」に毎週土曜日に通っているのは、吉野諒司 君。課題研究のテーマ「テンペ入りチーズの商品化」に向けて、専門家のマンツーマンの指導を受けながらチーズづくりのノウハウを学んでいます。将来は乳加工の分野の職に就きたいという夢があり、休日ながら朝早くから一人黙々と取り組むそのまなざしは真剣そのものでした。

津江市で豆腐類の製造・販売を行っている「(株)佐野食品」にお世話になっているのは、今田龍希 君と友野泰裕 君。二人の課題研究のテーマは「ソイポーク(豆腐ソーセージ)の商品化」です。二人とも高農で学んだことを大学に進学してさらに深め、将来は食品関係の職に就きたいという夢を持っているとのことでした。



本校では、地域を支える人材として自己形成できる能力や態度を育成する「岡山県地域人材育成事業」に取り組んでおり、その一つの取組として、生徒の夢を実現するための長期のインターンシップを推進しています。

また、「授業外ポイント制度」として、こうした就業体験やボランティア活動を単位認定する制度もあります。

**高農「春のふれあい市」**

4 月 28 日（土）、恒例の高農「春のふれあい市」を開催しました。好天にも恵まれ、今回も多くの方々に来校いただき、カステラなど人気商品には長蛇の列ができていました。このふれあい市も、昭和 60 年にスタートして今年で 27 年目を迎えました。開会に先立ち、郷土芸能部の「最上太鼓」と吹奏楽部によるミニ演奏を披露した後、各科による販売のほか、ミニ豚ショーやふれあい動物園、芝人形づくり体験などで来校者に楽しんでいただきました。学習活動による生産であるため商品の数に限りがあり、また駐車場や学校周辺の通行などにも大変ご不便とご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。



**6 月の行事**

- 2(土)県総体～3(日)
- 4(月)京山中との交流、眼科検診  
早島支援学校との交流会(F科)
- 6(水)眼科検診
- 7(木)1年耳鼻科検診
- 8(金)英語検定  
農クワア-アルツ'ント競技県大会
- 11(月)第1回中高連絡協議会
- 12(火)各種委員会  
農ク家畜審査競技県大会(肉用牛)
- 13(水)農ク県連幹部講習会～14(木)
- 15(金)漢字検定
- 16(土)学校開放講座[寄せ植え]
- 19(火)性教育講演会(1・2年)
- 20(水)校内球技大会
- 22(金)校内意見発表大会
- 23(土)園芸部ビ-ワークアップ
- 24(日)岡山そうじに学ぶ会
- 26(火)校内鑑定競技大会
- 27(水)農クア'ロ'ェト発表県大会
- 28(木)京山中との交流
- 30(土)学校開放講座[ハイド'ロ'カルチャー]

5月13日、園芸科学科草花専攻生が池田動物園（岡山市北区）で「高松農高花フェスタ」として販売実習を行いました。母の日に合わせて制作したカーネーションのアレンジメントをはじめ、授業で栽培したナデシコやマリーゴールド、サルビアなど色とりどりの草花苗や寄せ植え、鉢物などを販売しました。

日曜日の動物園は多くの親子連れで賑わい、クマやネコの顔を模したフラワーアレンジメントは、小さな子どもたちにも「わあ、かわいい」と大好評でした。



**高松農高花フェスタ**

**高農の逸品 No.16**

校内生産・加工品

生徒たちが実習で栽培・生産（加工）している本校の逸品を連載でご紹介しています。今回ご紹介するのは「カーネーション」。園芸科学科が平成 21 年度から『高農の花』を目指してスクールプロジェクトで生産しています。23 年度からは、花を用いたアレンジメント（ウサギ、クマ、ネコ）を制作し、販売しています。

